

2011年4月5日開催 第557回 番組審議会

■ 出席委員

荒巻裕委員長 櫻井美幸副委員長 上田理恵子委員 神谷徹委員
齊藤善也委員 佐藤卓己委員 佐藤友美子委員

■ 毎日放送出席者

河内社長 田中専務 上田専務 松島常務 河村編成局長 梅本報道局長
寺西制作局長 熊ラジオ局長 立野コンプライアンス室長

◆ 委員交代の報告とあいさつ

◆ テレビ、ラジオの4月改編について編成局長、ラジオ局長が報告した。

◆ MBS開局60周年プロジェクトの22年度の実施報告と23年度の予定についてラジオ局長、編成局長が報告した。

◆ 平成22年度に放送したMBSのラジオ、テレビの番組、放送全般について意見交換した。

各委員の主な意見は次の通り。

- * いろんな立場の人がいるので、そういう人たちがどんなものを求めているのかももう一度考え、その人たちが「これが見たかった」と思える番組をつくっていただけたらうれしい。
- * 「ネットワーク3・11」では、東北放送と毎日放送が同時進行で生放送をし、途中でお互いのキャスター同士が会話する。面識がない同士だが、放送を担当している者同士が関西と東北で会話をして、非常に感動的だった。今後のラジオの可能性が開けたと思う。
- * 関西で暮らして1年になるが、番組を見て感じるのは、どこかにお笑いのベースがある番組が多いこと、それを除いて普通に淡々とやってもらったほうがいいと感じる場面、番組がいくつかある。
- * 今できることを冷静に放送する。その「今できること」は、時間の経過とともに変わっていく。問題意識の発信もだんだん変わっていくのではないか。(震災を)経験した局であり地域だからこそ具体的に発信していくことができると思う。
- * それぞれの年に、それぞれの時に、目の前の大阪、近畿にある問題、そして日本にある問題を、生きている時代の問題をきちんと前を向いて見つめている。その積み重ねが、この映像シリーズが今も続いている結果を生み出している。

以上